

## 第14回国立大学法人島根大学物品・役務等契約監視委員会 議事概要

1. 開催日	令和6年7月18日(木)		
2. 開催場所	国立大学法人島根大学 本部棟1階第二会議室		
3. 定例会議(審査対象年度)・臨時会議の別	定例会議(審査対象:令和5年度)		
4. 出席委員	○委員長 千家 充伸 (国立大学法人島根大学 監事) ○委員 中野 俊雄 (行政書士) 山根 朋洋 (公認会計士)		
5. 審議事項	○議事 1. 審査対象案件の抽出結果について(監査室報告) 2. 審査対象案件の審査について 3. 取引停止の措置について 4. その他 (1)物品の調達に係る要領及びマニュアルの改定の取組状況について(経理・調達課説明) (2)その他 特になし。		
6. 審査対象案件の内訳	総数	書面審査	対面審査
一般競争入札	94 件	12 件	5 件
最低価格落札方式	89 件	11 件	4 件
総合評価落札方式	5 件	1 件	1 件
指名競争入札	- 件	- 件	- 件
最低価格落札方式	- 件	- 件	- 件
総合評価落札方式	- 件	- 件	- 件
随意契約	32 件	1 件	1 件
企画競争	1 件	1 件	1 件
公募	1 件	- 件	- 件
競争性のない随意契約	29 件	- 件	- 件
不落随意契約	1 件	- 件	- 件
7. 委員の質問・意見等及び本学の回答等	別紙のとおり		
8. 委員会としての意見	指摘すべき重大な事項は認められない。		
9. その他	特になし。		

委員の質問・意見等	本学の回答等
<p>1) American journal of physiology 他 計8件の利用一式 【一般競争入札(最低価格落札方式)】 (企画部図書情報課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1者入札となっているが、応札者を増やす方法として、他の地域で契約している業者にも入札参加を促すことは可能か。</li> <li>・ 予定価格の算出内訳について、具体的な方法の説明をお願いしたい。</li> <li>・ 為替レートからの算出について、複雑な計算をしているが結果からみると、簡単に算出することも可能ではないか。</li> <li>・ リバースチャージ方式に関し、本契約の消費税について説明願いたい。</li> <li>・ 8件を取りまとめた理由を伺いたい。入札結果から見ると疑問が残るが。</li> <li>・ 来年度は、とりまとめについてどう対応するのか。</li> <li>・ 電子ジャーナルは、1年間の利用期間の契約となっているが、他の方法もあるのか。</li> <li>・ 電子ジャーナルは、業者によって利便性が異なることもあるのか。</li> <li>・ 競争参加資格の内、役務の提供ができることを証明する書類とは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他にも入札参加が可能な複数の取扱い業者があり、今後は声をかけることを考えている。</li> <li>・ 為替レートからの算出及び手数料等について説明した。</li> <li>・ 意見のとおりである。過去から適用している算出方法であり深い意味はない。分かりやすいものに見直す検討をする。</li> <li>・ 算出時は消費税を想定していたが、入札結果ではリバースチャージ方式以外の消費税はなかった。</li> <li>・ 取扱いが可能かどうか事前に調査した結果により、とりまとめたものである。複数の入札参加が見込まれていた。</li> <li>・ 複数の入札参加が可能となるよう、事前の調査時に検討する。</li> <li>・ 利用契約のみである。</li> <li>・ 業者による差はない。</li> <li>・ 代理店証明書、他大学の実績証明などである。</li> </ul>
<p>2) (川津)材料エネルギー学部棟新営に伴う地下水モニタリング調査業務 【一般競争入札(最低価格落札方式)】 (財務部施設企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この調査業務の契約をすることとなった背景について伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌汚染対策法に基づくものである。材料エネルギー学部棟整備に伴う、総合理工学部2号館の取り壊し工事、埋蔵文化財発掘調査工事、新築工事の地面を掘削する工事は届出が必要な行為に該当するため、土壌汚染の有無について調査を行った結果、土壌汚染が認められたため、松江市より形質変更時要届出区域の指定を受けることになった。形質変更時要届出区域内で掘削工事を行うにあたり、松江市との協議の結果、土壌汚染の拡散及び地下水への汚染の有無についてモニタリングを行うこととなった。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札結果一覧表によると4者が入札しているが落札者のみが極端に安価で落札している。そのことが特に悪いわけではないが、状況について分かることがあれば伺いたい。</li> <li>・ 最低価格の入札者を落札者としなくていいことができる規定があるが、今回の契約において入札価格が低廉の場合の調査はどうしたのか。</li> <li>・ 現在も継続している契約であるが、何か問題等はないか。</li> <li>・ 製造請負契約基準によることとしているが、なぜか。</li> <li>・ 松江市との対応に関し、現在までのところで問題等はないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費及び諸経費について差があったためである。全国展開しているため、受注件数も多いのではないかと。</li> <li>・ 基準価格は、予定価格が工事にあつては2,000万円、その他請負(役務)にあつては1,000万円をそれぞれ超えるものが該当する。本件は対象外である。</li> <li>・ 松江市内に営業所があり、特に問題はない。</li> <li>・ 契約事務取扱要領に役務請負契約基準を追加する前(令和5年度一部改正前)であつたため、製造請負契約基準を読み替えて適用している。</li> <li>・ 今のところ特に問題はない。</li> </ul>
<p>3) セルソーター 一式 【一般競争入札(最低価格落札方式)】 (医学部事務部会計課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件の納入業者は、他大学において実績のあつた納入業者と同じか。</li> <li>・ 特殊なものではなく、汎用的な機器であり他メーカーにも同等の機種があると思われるが、なぜ1者のみとなつたのか。</li> <li>・ 機器の予定価格の算出方法について、パターンがほぼ同じであるが、他の考え方や工夫があつても良いのではないかと。 1者だけの入札参加でも、予定価格の制限をもっと生かすことが必要である。 予算も厳しい状況であるため、契約する上での努力もしていただきたい。</li> <li>・ 周知不足が原因としているが、具体的な改善策はあるか。</li> <li>・ 仕様策定時に複数のメーカーの機種を想定したとのことだが、どういう流れで当該機器が納入されたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学は別の業者である。</li> <li>・ 周知が足りなかつたかもしれない。</li> <li>・ 様々な業者を対象に調査することなどが考えられる。</li> <li>・ 本学ホームページ及び掲示板による周知のほか、メーリングリストの活用も考えられる。また、医学部だけでなく大学全体として検討が必要であると考えます。</li> <li>・ 仕様内容を公開し、それに合致した機種を業者が選定し提案したものである。また、当該機器が技術審査で適合していると判断されたものである。</li> </ul>
<p>4) 医事外来業務及び収納業務 【一般競争入札(最低価格落札方式)】 (医学部事務部会計課)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の履行について、大学としての評価はどうか。</li> <li>・島根県内の医療事務有資格者が不足していることだが、大学のシステムの自動化等の改善はどうか。</li> <li>・自動化することによって、コスト削減できるのではないか。</li> <li>・4回で落札しているが、不落の場合、5回目もあるのか。</li> <li>・業者の人数がかなり多いが、減らせば応札者も増えるのではないかと。業者の人員と大学職員のバランスはどのようになっているのか。</li> <li>・契約業者からのアドバイスはあるのか。</li> <li>・多額の契約金額であるので、契約する上で工夫をしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者さんの待ち時間が長くなるなど、問題点もあるが担当課と情報共有しながら改善に努め行っている。なお、大学と業者による定例会を開催し、打合せも行っている。</li> <li>・AIを活用したシステムの導入等が検討されている。患者さんの不満を減らすことが重要である。</li> <li>・増収となる提案等を活用したいと考えている。</li> <li>・その場合は、5回目も再度行うこととなる。</li> <li>・以前は、外来と入院の業務を業者が行っていたが、現在、入院業務は大学職員が行っている。外来業務についても縮小に向けた検討余地はあるが、業務の切り分けが必要となる。</li> <li>・いろいろな工夫の余地はあるので、アドバイスはしていただいている。</li> <li>・分かりました。</li> </ul>
<p><b>5) セキュリティシステム 一式</b>  <b>【一般競争入札(総合評価落札方式)】</b>  <b>(財務部経理・調達課)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1者から提案があったが、技術審査が不合格となり再度公告の上、契約を行ったとのことだが、業者は同じか。</li> <li>・再度公告において、仕様内容は変更したのか。</li> <li>・再度公告において、入札説明会を開催しなかったのはなぜか。また、開催しなくても良いのか。</li> <li>・入札期間(提案期間)を短縮しているが、問題ないのか。</li> <li>・入札説明会を開催しないこと及び期間短縮は、決裁がされているのか。</li> <li>・リース期間開始日が令和6年2月1日からとなり、中途半端な開始日であるが、何か理由があるのか。</li> <li>・機器の取扱業者は多数あると考えられるが、応札者が1者のみであった理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ業者である。</li> <li>・仕様書は、最初の入札公告時に行った技術審査の状況を考慮し一部変更した。</li> <li>・調達スケジュールにおいて、納期等の期間が限られているため、やむを得なかった。開催は任意である。</li> <li>・急を要する場合においては、短縮することができる規定となっている。</li> <li>・再度公告の決裁をした上で実施している。なお、決裁時に状況を説明している。</li> <li>・システムのライセンスが1月末で切れるため、それに合わせている。</li> <li>・専門性が高い機器もあり、競争性の確保に留意し仕様策定を行ったが、結果的に1者となった。多数の業者に入札参加いただけるよう、公告以外の周知の仕方についても改善したい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様策定の方法にも疑問が残るがどうか。</li> <li>・政府調達契約であるが、再度公告の手続きについて定期的に問題はないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様策定時の対応について、不可欠な要件は確保しながらも、より競争性が確保できるよう仕様策定委員会に働きかけるなど、改善の余地があると認識している。</li> <li>・特に問題はない。</li> </ul>
<p>6) 地域企業－研究者共同研究伴走支援及び地域企業高度化支援業務</p> <p style="text-align: center;"><b>【随意契約(企画競争)】</b> (財務部経理・調達課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画競争とした過程について伺いたい。</li> <li>・契約審査委員会をなぜメール審査で行ったのか。</li> <li>・提案書の提出業者が1者だけということか。</li> <li>・企画競争の周知について伺いたい。</li> <li>・何をもちいて契約の相手方として相応しいと判断したのか。</li> <li>・業務の履行について、仕様が抽象的な内容だが大学の評価は。何か問題等はなかったか。</li> <li>・選定委員会が審査するのか。</li> <li>・仕様書の内容は抽象的なものとなっているが、プレゼンテーションでは具体的な内容の提案があり、適切な審査が可能な提案内容であったという理解でよいか。</li> <li>・審査結果の点数で、最低点はあるのか。</li> <li>・企画競争の手順に関し、競争性の確保に留意の上、契約の透明性について改善が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援業務の内容から企画競争で行いたい旨、契約依頼部局からあり、契約審査委員会で審議の上、決定したものである。</li> <li>・契約手続きスケジュールの期間制限の中で、当該委員会の委員全員が出席できる日程を確保できなかったためである。</li> <li>・そうである。</li> <li>・本学ホームページ及び掲示板による周知を行った。 なお、個別の周知については、特殊な業務内容であったこともあり、提案書提出業者の他に地元業者1者に声をかけてみた。</li> <li>・プレゼンテーション内容及び提案書類により審査している。 なお、予め評価基準を作成の上、審査している。</li> <li>・悪い評価は聞いてない。特に問題はなかった。</li> <li>・同委員会がプレゼンテーション内容等を審査した。</li> <li>・プレゼンテーション内容を重視しており、適切に審査している。</li> <li>・最低点は決めてない。 審査結果は、委員が判断する。</li> <li>・契約担当から、公募要領等策定委員会に対し、複数の業者が参加できる公募要領を策定するよう促すとともに、契約依頼部局と協力し、情報収集を行うことにより、より多くの業者に周知できるようにするなど、手続きの手順の見直しについて検討を行い、競争性の確保に努めたい。</li> </ul>